

コンクリート・ジャングル (1960)

THE CRIMINAL
THE CONCRETE JUNGLE

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 イギリス

色彩 B&W

時間 98分

初公開日 1962/08/31

公開情報 ヘラルド

【解説】

英国の刑務所を舞台にした映画は珍しいが、服役者たちはわりと自由に暮らしていて、囚人服だっですごく仕立てがよさそうだ。大物ギャングが収監され、所内でも睨みをきかす中、S・ベイカー扮するジョニーは出所を明日に控え、舞い戻ってきた裏切者ケリーの始末を仲間につけさせる。一匹狼ふうのジョニーは、檻の中で立案した競馬の売上金強奪計画を早速実行に移す。手ぐすね引いて待ち受ける旧友マイケル（監督ロージー同様、赤狩りでアメリカを追われたワナメイカー）が仲間を揃え、強奪に成功するが、ルームメイトのスザンヌにジョニーを奪われ嫉妬に狂ったマギーの密告で、彼は再び獄中へ。だが、奪った金はジョニー単独で隠したので、その在りかは彼しか知らない。そこで牢名主サフロンらは、看守長を買収し暴動騒ぎを起こし、ジョニーの移送を決定させる。それは脱走のための計画的なもので、その途中、彼はマイケルらに逃がされると同時に拘束された。サフロンが黒幕？ いや、“御大”と呼ばれる、彼らの大ボスが業を煮やして彼を出させ、当初の規定により高いパーセンテージのあがりを取ろうという腹なのだ。マイケルはあっさりそっちの側について、彼から金の隠し場所を聞き出そうとするのだが……。モダン・ジャズが全篇に流れ、雰囲気は悪くない映画で、そこそこ捻った所もあるのだが、アメリカのこの手の映画を見なれた目には、展開の一つ一つに切れ味が足りず、乗り切れない。

【クレジット】

監督	ジョセフ・ロージー	Joseph Losey
脚本	アラン・オーウェン	Alun Owen
撮影	ロバート・クラスカー	Robert Krasker
音楽	ジョン・ダンクワース	John Dankworth
出演	スタンリー・ベイカー	Stanley Baker
	サム・ワナメイカー	Sam Wanamaker
	ジル・ベネット	Jill Bennett
	グレゴワール・アスラン	Gregoire Aslan